

## 2024 年年頭のあいさつ < 今後のエネルギー >

一般社団法人 電力土木技術協会  
会長 大石 富彦



あけましておめでとうございます。新年をご家族の皆様とゆつくりと過ごされましたでしょうか。本日は多くの会員の皆様にご出席いただき、ありがとうございます。

まずは、元日早々の能登半島地震 M7.6 には驚かされました。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げますとともに、早期の復旧・復興を願っております。北陸電力さんは大変な状況かと思いますが、復旧に向けてご尽力をお願いいたします。

さて、会長を仰せつかって4年となり、電力業界に44年携わらせて頂いた者として、最後に、今後に望む事を話させていただきたいと思います。1月号の巻頭のあいさつにも書かせて頂きましたが、近い将来、運輸は電気自動車になり、鉄は高炉から電気炉や水素炉になり、家庭もオール電化になると思われます。となると、エネルギーイコール電気の時代になると思われます。

そんな中で、再生可能エネルギーを推進するのは良いのですし、国のエネルギー基本計画にも22%と電源構成も示されているのですが、昨今は様々な情報があり、何がいつまで、どれ位可能かというロードマップが見えない。是非、それを示してもらいたいと思います。

昨今の新聞には、ペロブスカイト太陽電池、水素、アンモニア、CCS、石炭ガス化、小型原子炉、洋上風力、浮体式、電気自動車、空飛ぶ車、固体電池、蓄電池、バーチャル発電、核融合 等々の活字が出ない日はありません。

様々な可能性があるのは分かりますが、課題も多く、それぞれの解決スケジュールと達成規模をロードマップに具体的に示してもらいたと思っております。

次に、電気料金について、如何に電力会社が効率化してきたかを示すことが必要ではないかと思ひます。これは、電力会社が利益を求めた会社でなく、エネルギーと言う生活、生きることに欠かせないものをお客様に届ける事に使命を感じて働いている事をもっと主張すべきではないかと常々思っています。

比較のために、私が入社した 44 年前 1980 年と今の料金を大まかに比較しますと、電気料金は、2 回のオイルショック後で 1980 年には kWh20 円でした。今も、再エネ賦課金 3.5 円を加えても 25 円程でほぼ価格は上昇していません。一方、1980 年と比べて、大学卒の初任給は約 2 倍以上に、サラリーマンの年収は約 1.6 倍に、NHK の受信料は約 3 倍以上に増加しています。電気料金が値上げされたとか、高いと言われますが、大きなトレンドを見て、評価してもらいたいですね。

最後に、今年の 5 月号より、協会誌を完全に WEB 化しますが、引き続き、電力土木技術協会をよろしくお願いいたします。若手、ミドル、シニアの皆様がそれぞれに有効であり、活用できる、それでいて技術の継承と技術の進歩に役に立つ存在になるよう努力してまいりますので、引き続きのご支援ご鞭撻をお願いして挨拶に代えさせていただきます。ありがとうございました。本日はごゆっくりご歓談ください。